

会場のご案内



〔JR仙台駅からのアクセス〕

- 仙台市営バス「仙台駅前(24、25番のりば)」→「東北福祉大前」バス停下車 徒歩0分
- JR仙山線「仙台駅」→(約15分)→「東北福祉大前駅」下車 徒歩5分

〔仙台空港からのアクセス〕

- 仙台空港駅→(約20分)→JR仙台駅

財団法人 日本自治創造学会
The Japanese Society for Local Democracy

会長 佐々木 信夫

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-2-707

(事務局) NPO法人地方自立政策研究所内

TEL 03-5623-0472

FAX 03-5623-0473

<http://jsozo.org>

E-mail: info@jsozo.org

第3回 2011年度 日本自治創造学会 仙台大会

大震災を越えて —地域の復興と自治の再生—

日時

平成23年10月26日(水) 13:00~17:30

場所 宮城 東北福祉大学音楽堂けやきホール

〒981-8522 宮城県仙台市青葉区国見 1-8-1

TEL 022-233-3111 (代表)

参加費 6,000円 (災害復興義援金を含む)

(但し、大学院生、学生、一般市民は1,000円)

主催 財団法人 日本自治創造学会

研究大会 プログラム

■ 10月26日(水) 日本自治創造学会 仙台大会

総合司会：遠藤 敦子

13:00～13:05

主催者挨拶 佐々木 信夫 (日本自治創造学会会長)

1948年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修了。東京都庁勤務を経て1989年聖学院大学教授、同年法学博士(慶應義塾大学)。1994年から中央大学教授、2001年から現職。慶應義塾大学、日本大学各講師。日本自治創造学会会長。



佐々木 信夫

萩野 浩基

会場主挨拶 萩野 浩基 (東北福祉大学学長)

1940年島根県津和野生まれ。哲学博士。東北福祉大学学長・常務理事。早稲田大学大学院(政治学)を修了し、昨年まで母校早稲田大学にて35年間教鞭をとった。この間、参議院議員・衆議院議員を務めた。

講演の部

13:05～14:10 講演Ⅰ 「大震災からの復興～復興ビジョンと政治の力」



御厨 貴 (東京大学教授(政治学)、東日本大震災復興構想会議・議長代理)

政府の復興構想会議の議長代理として、東日本大震災の復興構想の取りまとめに尽力してきた同氏から、政府の復興構想の考え方、短期、中長期の復興ビジョンを聞く。関連し、代表的な政治学者として独自の発言を続ける同氏から今後の政局、政治のあり方を聞く。

1951年生まれ。東京大学法学部卒業。同助手、東京都立大学法学部教授、政策研究大学院大学教授、東京大学先端科学技術研究センター教授[安全・安心と科学技術人材育成][オーラル・ヒストリー][公共政策]、大学院工学系研究科先端学際工学専攻担当、2006年大学院工学系研究科建築学専攻兼任、現在にいたる。

14:10～15:05 講演Ⅱ 「復興ビジョンと共生のまちづくり」



石川 幹子 (東京大学教授(都市工学)、農学博士)

日本、中国など地震災害の現地調査をもとに、都市工学者の立場から被災地と全国の自治体を組み合わせる「ペアリング支援」といった独特の考え方を提唱。

宮城県生まれ。東京大学農学部卒業、1976年ハーヴァード大学デザイン学部大学院修了、1994年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。現在、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授、日本学術会議会員、博士(農学)、技術士(都市および地方計画)。

15:05～15:35 講演Ⅲ 「復興のまちづくり、自治の再生」



穂坂 邦夫 (地方自立政策研究所理事長、前志木市長)

被災地の自治体再生の唯一の方法は、行政のすべての仕事を地域住民に開放し、自治体自身を住民の働く拠点に変える、といった大胆な「行政の民間解放」などを提唱。

1941年埼玉県生まれ。埼玉県職員、足立町(現志木市)職員、志木市議会議員(4期)、埼玉県議会議員(5期)を経て、2001年、志木市長に就任。志木市議会議員(第8代)、埼玉県議会議員(第99代)などを歴任。2005年よりNPO法人地方自立政策研究所理事長。日本自治創造学会理事長。

(休憩:10分)

開催の趣旨、ご案内

3月11日に発生した「東日本大震災」は、東北、関東沿岸部を中心に歴史上経験のない大被害をもたらした。国、各地の自治体、企業、団体ほか多くの国民の支援活動が続くが、現地の復旧、復興のめどはそう簡単につく状況ではない。緊急、短期、中期、長期の復旧、復興政策がさまざまな形で求められる状況である。しかし、未曾有の危機は必ず克服できる。それが日本人の力であり、東北の底力である。

そこで本学会では、学術的な観点と実践的な観点から復興支援の一環として、「大震災を越えて—地域の復興と自治の再生」をテーマに、緊急の「仙台大会」を開くことにしました。「がんばろう日本」の観点から多くの皆様のご理解をいただき、当学会にご参集下さいますよう、ここにご案内申し上げます。

日本自治創造学会会長 佐々木 信夫

討論の部

15:45～16:00 現地報告Ⅰ 「宮城県南三陸町の被災実態と復興への挑戦」



佐藤 仁 (宮城県南三陸町長)

宮城県北東部に位置し、05年に志津川町と歌津町の合併で生まれた太平洋に面する町。そこを襲った大津波。多くの犠牲者が出、雇用の場も失われた。医療機関も失うなど町民の不安は高い。日々悪戦苦闘する復旧の実態、そして復興への挑戦を町長が報告。

1951年宮城県生まれ。1970年仙台市立仙台商業高等学校卒業。1992年志津川町議会議員、2002年志津川町長、2005年より南三陸町長。

16:00～16:15 現地報告Ⅱ 「岩手県宮古市の被災実態と復興への挑戦」



山本 正徳 (岩手県宮古市長)

三陸のリアス式海岸の北端に位置し、平成大合併で1市1町2村が合併、岩手県内の面積が最大の市となった。その沿岸地域を襲った大津波で多くの犠牲者が出、雇用の場も失われ、壊滅的な打撃を受けた。被災の実態とその克服へ向けた復旧、復興への挑戦を市長が報告。

1955年岩手県宮古市(旧田老町)生まれ。1974年岩手県立盛岡第一高等学校卒業。1981年岩手医科大学歯学部卒業、1984年旧田老町内に歯科医院開業。2001年田老町教育委員会教育委員、2005年宮古市教育委員会教育委員、2008年同会委員長。2009年合併に伴う新「宮古市」の第2代市長に当選。

16:15～17:30 パネルディスカッション 「被災地復興のシナリオと課題」

政府の復興構想の実現も大切だが、それ以上に地域の復興再生には住民と自治体、企業と自治体、自治体相互の連携といった地域ガバナンス(協治)の高揚が求められる。それには政治リーダーである地方議員と政治機関としての地方議会の発奮も不可欠。現地報告をもとに首長と専門家の討論により被災地復興のシナリオと課題を探る。

パネリスト 佐藤 仁 (上掲) 山本 正徳 (上掲)

パネリスト 御厨 貴 (上掲) 石川 幹子 (上掲)

コーディネーター 佐々木 信夫 (中央大学教授)